

フィルタリングサービスの普及に向けた 事業者（TCA）の取組み

2017年6月12日

電気通信事業者協会（TCA）

本日のご報告内容

1. これまでの経緯
2. 取組み状況の進捗
 - 2-1. 理解度向上のための取組み
 - 2-2. 新モード(「高校生プラス」)の提供
 - 2-3. 取組みの成果
3. 今後の取組み等
 - 3-1. 業界全体における環境整備
 - 3-2. 通信事業者の個別の取組み
 - 3-3. リテラシー向上に向けた啓発活動

1. これまでの経緯

スマートフォンの普及に伴う課題の整理と その対策案の検討経緯

総務省 タスクフォース 第1回～第3回 (～2016.06)

スマートフォン時代に即した、より使いやすいフィルタリングの実現を含めた今後の在り方の論点整理

- ・フィルタリングを巡る環境の変化（スマホ普及、機能高度化、水平分業等）
- ・フィルタリングの普及の阻害要因・問題の所在（ニーズとの乖離、店頭での設定に時間がかかる、リテラシーレベル）

フィルタリング 利用促進検討会

民間で検討会を立ち上げ、外部調査機関による調査、有識者による検討等を通じて方向性（新モード※の提供、フィルタリングサービスの名称統一等）を提示

※『新モード』＝「高校生プラス」、端末機能制限

総務省 タスクフォース 第4回 (2016.12)

上記検討会の方向性に基づく取組みの実施について報告・承認

2017年3月1日より順次導入

- ① フィルタリングのわかりやすさ向上
- ② 販売時における対応のさらなる向上
- ③ 新モード※(「高校生プラス」)の提供

詳細は
次頁以降

※端末機能制限の導入時期については継続検討

2. 取組み状況の進捗

2-1. 理解度向上のための取組み

利用者・保護者へのわかりやすさ向上のため 以下の取組みを実施

サービス名称や
アイコンの共通化

あんしんフィルター forキャリア名



説明内容の統一



書面によるリスク説明
と理解度確認強化

1	フィルタリングを利用せずに、インターネットを利用することで、お子さまの健全な成長に悪影響を及ぼす違法・有害情報に触れる可能性が生じることが理解されました
2	SNSなどを通じた見知らぬ相手とのやりとりにより、トラブルにあう青少年が増えており、また犯罪の被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になるリスクもあることを理解しました
3	上記注意点を踏まえ、お子さまに最適なフィルタリングサービスを選択しました

小学生	中学生	高校生	高校生 プラス
-----	-----	-----	------------

る支援が出るため
入すると支援が出るため
安全にインターネットを利用させるため

SNS利用の注意喚起を強化

サービス
認知度向上

訴求度向上

わかりやすさ向上

説明しやすさ向上

理解度の向上

接客意識向上

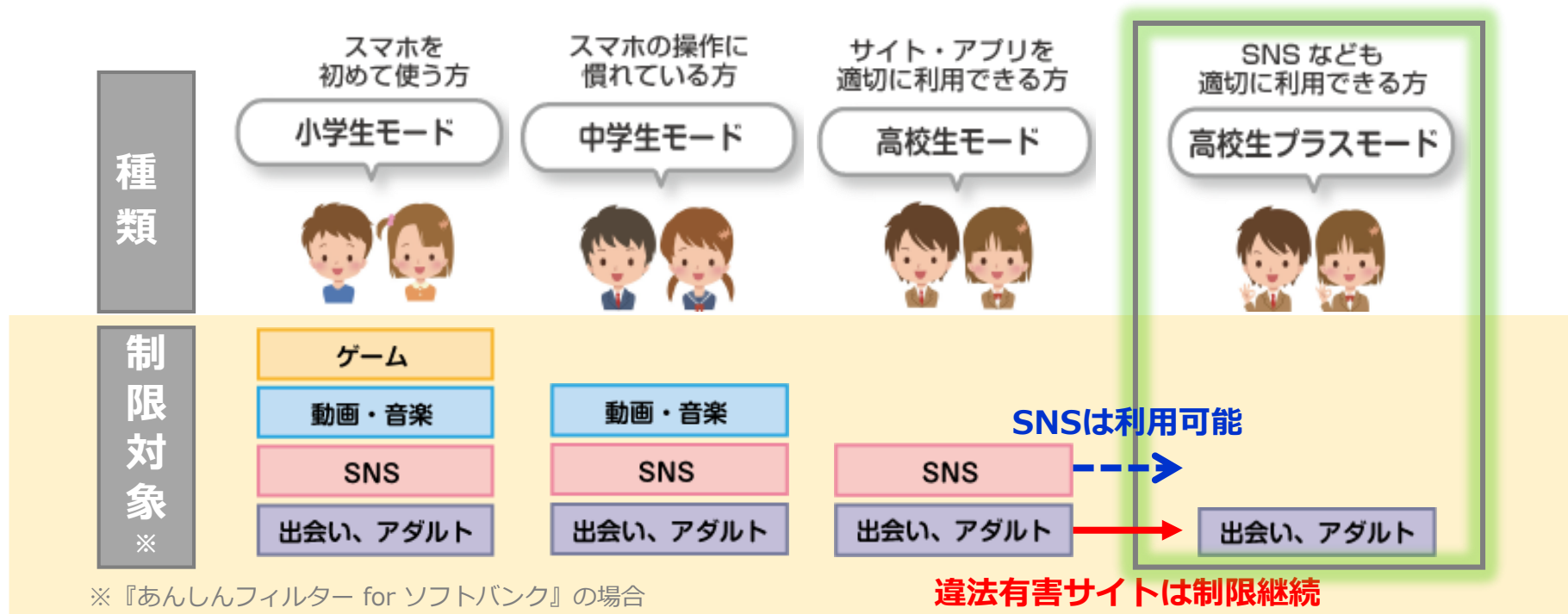


店頭スタッフ

2-2. 新モード(「高校生プラス」)の提供

小・中・高の3段階だったカテゴリに「高校生プラス」を追加
(3月1日から提供開始)

年齢にあわせた設定の種類



店頭：年齢等に応じた説明※、利用者の選択・判断をサポート
利用者・保護者：自らの判断で的確なレベルのサービスを選択※

※「高校生プラス」については、能動的な説明、積極的な勧奨は未実施

【参考】高校生プラスに関するヒアリング結果

「高校生プラス」を選択した保護者へのヒアリングを実施

(A社 期間：5/15～31、対象者：1,014人)



Q. 高校生プラスを選択したお子様の学齢は？

A. 高校生：約80%

Q. 高校生プラスを選択した理由は？

A. SNSが利用できるから：約90%

Q. 高校生プラスがなかったらフィルタリング加入してた？

A. フィルタリングに加入していなかった：約50%

Q. インターネットリスクは知ってる？

A. 理解や見聞きしている：約90%

店頭スタッフへのヒアリングを実施

(3社共通 期間：4月下旬～5月上旬、店舗数:41、回答数: 84)

- 高校生プラスを提供開始した結果、不使用申し出者が減った
- フィルタリングへの保護者の意識が以前に比べて高い
- 高校生はフィルタリング加入希望者が少ない
- 高校生以外にも、「高校生プラス」利用希望の声がある



2-3. 取組みの成果

取組み

効果・実態把握

わかりやすさ向上

- ✓ サービス名称やアイコンの共通化
- ✓ 説明内容の統一
- ✓ 書面によるリスク説明と理解度確認

- 店頭スタッフの意識
- 説明し易さ
- 利用者・保護者の理解度



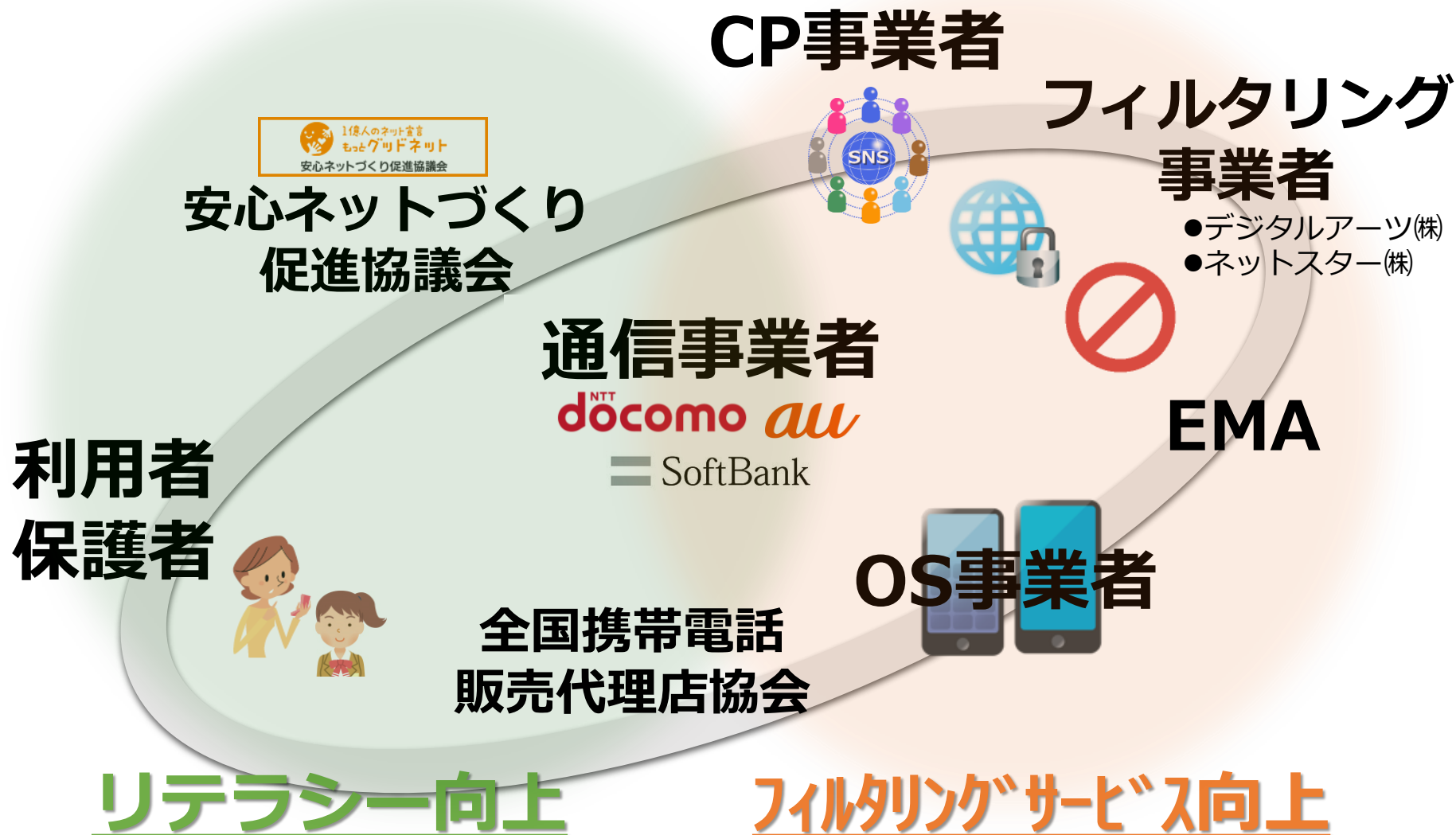
新モード(「高校生プラス」) の導入

- 「高校生プラス」の需要を確認
 - SNS利用に対するニーズの存在
 - 「ノーガード層」への救済策

「高校生プラス」についても既存カテゴリと共に、利用者・保護者が適切に判断できるよう、今後継続的に認知の向上を図る等、サポートを実施
(リスクやサービス説明の徹底、ツール等の充実化など)

3. 今後の取組み等

3-1. 業界全体における環境整備



業界全体の連携を深め、各種取組みを推進

3-2. 通信事業者の個別の取組み

フィルタリングサービスの質を向上するため 取組みを随時実施中

主なSNSのブロック対象リストを 作成、店舗へ展開

◆ 各ルール初期設定時のSNSアプリ利用可否（Android,4GLTEケータイ版）

* iOSについてはiOS本体機能の制限に従います

SNS名	小学生	中学生	高校生	高校生プラス
LINE（注2）	× 制限	○ 許可	○ 許可	○ 許可
Twitter	× 制限	× 制限	× 制限	× 制限
Instagram	× 制限	× 制限	× 制限	○ 許可
Facebook	× 制限	× 制限	× 制限	○ 許可
Youtube	× 制限	× 制限	○ 許可	○ 許可
snow（注2）	× 制限	○ 許可	○ 許可	○ 許可

ホームページで公開
（店舗でも説明の用意）

フィルタリングサービスの管理者画面を改良 使い勝手向上



学齢レベルを容易に設定
カスタマイズも可能

3-3. リテラシー向上に向けた啓発活動

利用者のリテラシー向上に向け 各種啓発活動を継続

ケータイ教室、研修



2016年度実績（3社合計）
開催数：11,850回
受講者数：約195万人

春の一斉行動



スマホ・ケータイを安心して
利用するために
「あんしんフィルター」



docomo au SoftBank Y!mobile TCA 一般社団法人 電子情報技術産業協会

「協力」 公益財団法人 日本PTA全国協議会 一般社団法人 全国消費者学校PTA連絡会

APPENDIX

各社が提供するフィルタリングサービス

フィルタリングサービスの名称やアイコンを業界で統一
お客様の理解度向上、普及啓発にもプラスの効果

フィルタリングサービスの名称とアイコン（アプリ）を本年3月1日より統一
【これまで】

キャリア	Android			iOS		
	web	無線LAN	アプリ	web	無線LAN	アプリ
	 ファミリーブラウザ		 あんしんモード	 ファミリーブラウザ		端末機能 制限
	 安心アクセス for Android			 安心アクセス for iOS		
	 スマホ安心サービス			ウェブ安心サービス	 Yahoo!あんしんネット	

【3月1日以降】

キャリア	Android			iOS		
	web	無線LAN	アプリ	web	無線LAN	アプリ
  	あんしんフィルター for （キャリア名、ブランド名） （例：あんしんフィルター for SoftBank） 					端末機能 制限

フィルタリング説明：NTTドコモ

たいせつな子どものためにやるべきことがあります。

インターネットの危険性を知っておこう。

インターネットを利用することで、青少年の健全な成長に悪影響を及ぼす違法・有害情報に触れる可能性があります。また違法・有害サイトの閲覧や有害アプリの利用により、犯罪に巻き込まれる可能性が高まります。

SNS などを通じて、自分から他者とのやりとりにより、トラブルに巻き込まれる危険性があります。

犯罪の被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になるリスクがあります。

コミュニケーションサイトやアプリに誘った子どもの87.7%がフィルタリングサービス未導入でした。



未導入率
87.7%

※コミュニケーションサイト・SNS、ブログ・メールサイトなど、サイト内で個人間とコミュニケーションがとれるウェブサイトのうち、出会い系サイトを除いたものの割合。

出典：警察庁「広域捜査」（平成28年10月20日）

安心ネットづくり促進協議会では、SNSの使いかたに関する情報を提供しています。 <http://ap.good-net.jp/>

フィルタリングサービスを利用しよう。

法律により、原則フィルタリングサービスへの加入が必要です。

青少年インターネット環境整備法により、18歳未満の青少年が利用する場合、フィルタリングサービスへ原則に加入いただきます。ドコモでは、この対象を未成年（20歳未満）としています。

未成年の子どもが利用しない

・青少年が利用する場合、保護者の方はその旨を申し出る必要があります。
・フィルタリングサービスに加入しない場合は、フィルタリングサービス不遵守の扱いとなります。

家族でルールを決めよう。

インターネットを利用する際は、家族でルールを決めましょう。

フィルタリングサービスは、違法・有害情報に触れるリスクを減らすことはできますが、完全に防げるものではありません。またSNSなどの一部は、フィルタリングサービスで制限されない場合があります。

未成年の子どもが利用しない

・インターネットリテラシーを高め、子どもに合ったルールを決めよう。
・保護者の方がお子さまの利用状況を把握・指導することが必要です。

機種によって必要なサービスが異なるので、しっかりチェックしよう。すべて無料で利用できます。/

スマートフォン・タブレットの場合

あんしん
フィルター
for docomo

3P
モード
フィルタ

詳細と設定方法はP.3・4へ

iPhone・iPadの場合

あんしん
フィルター
for docomo

制限設定

3P
モード
フィルタ

詳細と設定方法はP.5・6へ

ドコモケータイ (spモード)の場合

あんしん
モード

3P
モード
フィルタ

詳細はP.7へ

ドコモケータイ (iモード)の場合

Web
制限

あんしん
モード

3P
モード
フィルタ

画面に合わせて自動で
コンテンツが変換!

画面に合わせて自動で
テキストサイズ!



お子さま一人ひとりにあった使い方ができます。

詳しくはこちら
フィルタリングサービス



フィルタリング説明：ソフトバンク

SoftBank

これからケータイ、スマートフォンをお持ちになるお子さまとその保護者の方へ

フィルタリングに関する重要なお知らせ

お子さまをインターネットのさまざまなトラブルから守り
安心、安全にお使いいただくために、フィルタリング設定をお願いいたします。

インターネットサービスのリスクを知りましょう

サイトの閲覧・アプリの利用

インターネットは青少年の健全な成長に悪影響を及ぼす違法・有害情報に触れる可能性があります。有害サイト閲覧や有害アプリ利用により、犯罪に巻き込まれる可能性が高まります。

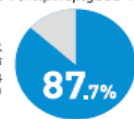


SNSなどの利用

近年SNSなどを通じた見知らぬ相手とのやりとりにより、トラブルにあう青少年が増えています。また犯罪の被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になるリスクもあります。

●安心ネットづくり促進協議会では、SNSの使い方に関する情報を提供しています。(http://sp.good-net.jp/)

フィルタリングサービス
未加入者の割合
出典：警察庁 広域資料
(平成28年10月20日)



フィルタリングサービスへ加入しましょう

法律により、原則フィルタリングサービスへの加入が必要です。 青少年インターネット環境整備法により、18歳未満の青少年が利用する場合、フィルタリングサービスへ原則で加入いただきます。ソフトバンクでは、この対象を未成年(20歳未満)としています。

保護者の方へのお願い

- 1 青少年が携帯電話を利用する場合、保護者の方はその旨を申し出る義務があります。
- 2 フィルタリングサービスを利用しない場合、法定代理人同意書の「加入しない場合の理由」を記入し、提出が必要です。

ご家庭内での利用ルールを決めましょう

フィルタリングサービスは、違法・有害情報に触れるリスクを減らすことはできますが、完全に取り除くものではありません。またSNSなどの一部は、フィルタリング制限の対象外になるものがあります。



保護者の方へのお願い

- 1 リスクを理解して、お子さまにあったルールを決めましょう。
- 2 保護者の方がお子さまの利用状況を把握・確認することが必要です。

有料オプションサービスをお申し込みのお客さま

位置情報、利用履歴(ウェブアクセス履歴、ウェブ検索履歴、SMS/MMS/メール送受信履歴、電話発信履歴)の推測をするためには、設定をONにする必要があります。詳細、設定手順は右記QRコードの「利用方法」メニューからご確認ください。



▶ iPhone、iPad、スマートフォン、タブレットのフィルタリングの設定はP2以降をご確認ください。ケータイをご利用の方は既に設定登録が完了しております。

書面によるリスク説明と理解度確認

1		フィルタリングを利用せずに、インターネットを利用することで、お子さまの健全な成長に悪影響を及ぼす違法・有害情報に触れる可能性が生じることを理解しました						
2		SNSなどを通じた見知らぬ相手とのやりとりにより、トラブルにあう青少年が増えており、また犯罪の被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になるリスクもあることを理解しました						
3		上記注意点を踏まえ、お子さまに最適なフィルタリングサービスを選択しました						
		小学生		中学生		高校生		高校生プラス
	左記の欄に不要となる理由を記入してください	1 本人が仕事をしており、加入すると支障が出るため 2 本人の障がい、病気等により加入すると支障が出るため 3 保護者が利用状況を把握し、安全にインターネットを利用させるため						

一つの書面にまとめ、保護者に交付